

■根本博 陸軍軍人。〈敗戦〉時、武装解除拒否して激戦、旧知の蒋介石協力で帰国後、秘密裏に台湾国府軍指揮して劇的勝利。
ねもとひろし
大津事件・ ・ 1891＝ 福島県岩瀬郡仁井田村(須賀川市)で、代々農業を営む家で、漢学の素養あって小学校代用教員となった根本為三郎の次男に生まれる。

日清戦争始・ 1894＝ 3歳： 幼時より頭脳明晰で、妹たちの子守しながら、小学校の授業見聞きして覚え、1年早く入学を許可され、

ピアノ/国産化・ 1900＝ 9歳：

日露戦争始・ 1904＝13歳： 仙台陸軍地方幼年学校に入学。
日露戦争終・ 1905＝14歳：

韓国反日暴動1907＝16歳： 仁井田村から初めて、陸軍中央幼年学校に入学し、

伊藤博文暗殺1909＝18歳： 卒業。陸軍士官学校に進み、

大逆事件判決1911＝20歳： 卒業して、見習士官旭川歩兵第二十七連隊付となる。
明治天皇没・ 1912＝21歳：

ロシア革命・ 1917＝26歳： 北支那守備、天津にて服務。
本格政党内閣1918＝27歳：
ベルサイユ条約・ 1919＝28歳： 陸軍大学校入校。

原敬首相暗殺1921＝30歳：
水平社結成・ 1922＝31歳： 陸軍大学校卒業。
関東大震災・ 1923＝32歳： 旭川歩兵第二十七連隊第一中隊長。参謀本部勤務(支那課支那班)。

治安維持法・ 1925＝34歳： 少佐、南京駐在。高輪の郵便局長の娘錫と結婚。
円本時代始・ 1926＝35歳： かつて陸軍士官学校めざして日本に留学した蒋介石と初対面、互いに通じるものを感じる。
金融恐慌・ ・ 1927＝36歳： 南京事件に遭遇し重傷。陸軍省軍務局課員(軍事課支那班長)。
愛嬌ある風体と豪快さで、出世した後も、誰からも愛される存在となり、

世界恐慌・ ・ 1929＝38歳： ドイツ出張、参謀本部部員。
海軍軍縮条約1930＝39歳： 中佐、参謀本部支那課支那班長になると、ロシア班長橋本欣五郎と親しく情報交換、ロシア通にもなる。
満州事変・ ・ 1931＝40歳：
五一五事件・ 1932＝41歳： 参謀本部付(上海駐在武官)。

帝人疑獄事件1934＝43歳： 大佐、陸軍省新聞班長。

二二六事件・ 1936＝45歳： 戒厳司令部第四課長。旭川歩兵第二十七連隊長。
日中戦争始・ 1937＝46歳：
健保+総動員 1938＝47歳： 少将。北支那方面軍特務部長。
第二次大戦始1939＝48歳： 興亜院調査官同華北連絡部次長。第二十一軍参謀長。
大政翼賛会・ 1940＝49歳： 南支那方面軍参謀長。
日米開戦・ ・ 1941＝50歳： 第二十四師団長(中将)(満州・東安)。

年金+総武装 1944＝53歳： この間、妻が留守宅送り制度による夫の俸給を貯蓄して、自宅を新築、
敗戦・ ・ ・ 1945＝54歳： 第三軍司令官(牡丹江)から、駐蒙軍司令官(張家口)となり、北支那方面軍司令官を兼務。*玉音放送後、本国から武装解除命令を、'全責任は自分が負う'と拒否しソ連軍と激戦、多くの兵士を失いながらも、在留邦人の命を救い、降伏文書に署名、北京に入った蒋介石からの希望で面会、その協力もあって、全員の内地帰還と将兵復員を成し遂げ、

新憲法公布・ 1946＝55歳： 国体維持はじめ感謝気持高まり、*国民政府から、特別列車による最高の礼を受けて送りだされ、帰国。
戦前台湾総督つとめた伝説的参謀明石元二郎の長男元長のもとに、元長のつくった{東亜修好会}の李銓源が来訪、共産軍におされて窮地の国府軍を救ってほしいと懇請され、可能性ある人物として推薦され、

三大事件・ ・ 1949＝58歳： *蒋介石退陣の報に衝撃受け、財産処分してでも上海に渡ろうと苦悶しているなか、李銓源が来訪、台湾行きを促され、元長の精根かけた画策によって、一行7人と、宮崎県細島沖で釣船から{東亜修好会}李麒麟が操るボンボン船に乗換え、危機一髪の連続で、台湾へ密航。基隆で逮捕拘留されるうち、蒋介石の耳に入って一転VIPとなり、疲労困憊した元長の急逝も知らず、金門戦争(古寧頭戦役)に参加、奇跡的勝利に導き、以後、共産党支配下に入らない台湾として維持されることになる。
この間、アメリカ紙のスクープを皮切りに、噂が広まり、国会でも追及、バッシング報道が続く。

独立回復・ ・ 1951＝60歳：
メデー-事件・ 1952＝61歳： *蒋介石は、戦争終結直後に景德鎮で豪華な三対の花瓶作らせ、英王室と皇室に寄贈し、一対を自分手元に置いていたが、その一つを蒋介石から贈られるほど感謝されて、帰国、記者に囲まれ、はぐらかすも悪意ある記事に。元長の弔問に明石家を訪れる。

自衛隊発足・ 1954＝63歳：
安保闘争・ ・ 1960＝69歳： 台湾に招かれて、蒋介石と再会。
TV宇宙中継始1963＝72歳：
以後、ともに戦った湯恩伯将軍が台湾で歴史からかき消されるのと同様、近代日本史からかき消されるなか、悠々自適の生活を送って、

いざなぎ景気1966＝75歳： 没した。

門田隆将「この命、義に捧ぐ」、